

2-1 「要領・指針」への対応

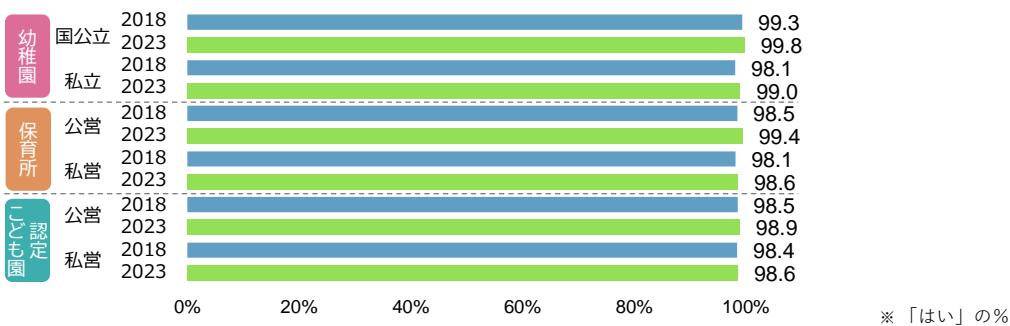


「要領・指針」についての園内研修・勉強会の実施は2018年より減っているが、保育の振り返りの機会は、ほとんど変わっていない。

2017年改訂(定)以降、「『要領・指針』についての書籍・雑誌・書類を読んだことがある」は9割以上で、5年前とほぼ変わらない(図表2-1-1)。一方、「要領・指針」についての園内研修・勉強会の実施比率は、2018年より減っており、幼稚園では国公立のほうが私立よりも26.7ポイント高く、認定こども園でも、公営のほうが私営より16.2ポイント高かった(図表2-1-2)。「要領・指針」に沿った保育の振り返りの機会は、どの園種も2018年とほとんど変わらず実施している。ただし、幼稚園や認定こども園では国公立・公営と私立・私営の差がみられた(図表2-1-3)。

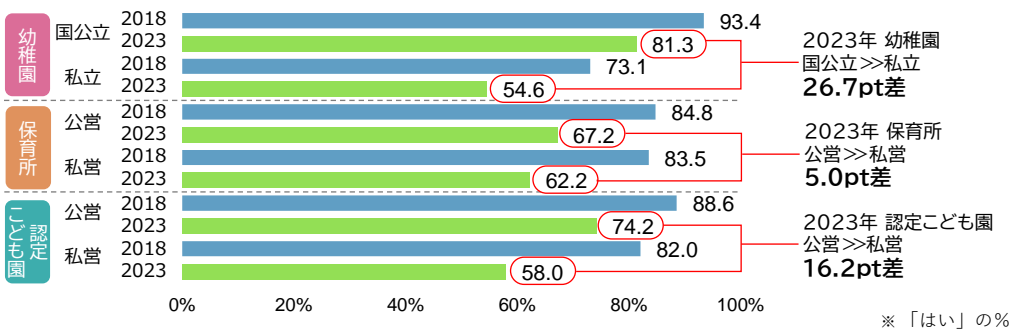
Q あなたは、「要領・指針」について解説した書籍・雑誌・書類をお読みになったことはありますか。

図表2-1-1 「要領・指針」についての書籍・雑誌・書類を読んだことがあるか(園の区分別 経年比較) 園長回答



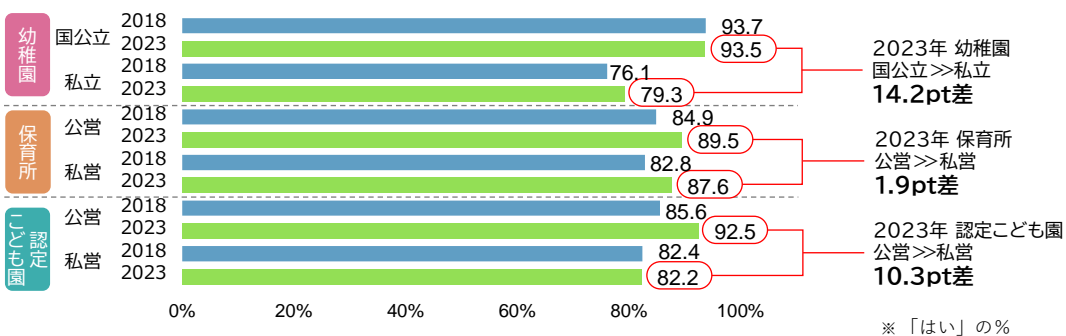
Q 貴園では、「要領・指針」について、この1年で園内で研修・勉強会などを実施しましたか。

図表2-1-2 「要領・指針」について、園内で研修・勉強会の有無(園の区分別 経年比較) 園長回答



Q 貴園では、保育者の間で、「要領・指針」の趣旨に沿って、保育の振り返りの機会をもつようになっていますか。

図表2-1-3 「要領・指針」に沿った保育の振り返りの機会の有無(園の区分別 経年比較) 園長回答



2-2 園の教育・保育目標として重視していること



「遊び」に関する教育・保育目標が、どの園種でも重視されている。

トップ5項目に共通して入ってくるものは「遊びの中でいろいろなものに興味をもつこと」「のびのびと遊ぶこと」「基本的な生活習慣を身につけること」という、遊びや生活習慣にかかわる内容であった(図表2-2-1)。2018年と比較して、大きく変化しているのは、「遊びの中でいろいろなものに興味をもつこと」「のびのびと遊ぶこと」で、多くの園種で5~20ポイント以上増えている。「要領・指針」が掲げる「遊びを通した学び」の重要性が浸透していることがわかる。「豊かな情操や感性を育むこと」「人への思いやりをもつこと」など18年より低くなっているが、これは「最大3項目まで」という回答条件下で他の項目が優先的に選択された結果、相対的に選ばれにくくなったと考えられる。つまり、情操や感性、思いやり等が軽視されているわけではないといえるだろう(図表2-2-2)。

Q 貴園が教育・保育の目標や内容として特に重視していることを、次にあげるものから3つまで選んでください。

図表2-2-1 教育・保育の目標として特に重視していること(幼稚園・保育所・認定こども園 23年)

園長回答

	1位	2位	3位	4位	5位
幼稚園	遊びの中でいろいろなもの興味をもつこと 46.4	のびのびと遊ぶこと 40.1	基本的な生活習慣を身につけること 29.3	友だちを大事にし、仲良く協力すること 29.1	考える力を養うこと 26.6
保育所	健康な身体をつくること 42.8	遊びの中でいろいろなもの興味をもつこと 41.8	のびのびと遊ぶこと 41.4	基本的な生活習慣を身につけること 34.6	人への思いやりをもつこと 29.1
認定こども園	遊びの中でいろいろなもの興味をもつこと 40.7	のびのびと遊ぶこと 38.7	健康な身体をつくること 36.1	基本的な生活習慣を身につけること 35.2	人への思いやりをもつこと 29.7

※ 複数回答(3つまで)

※ 「その他」を含む18項目のうち、上位5項目を表示

図表2-2-2 教育・保育の目標として特に重視していること(園の区分別 経年比較)

園長回答

	幼稚園		保育所				認定こども園					
	国公立		私立		公営		私営		公営		私営	
	2018	2023	2018	2023	2018	2023	2018	2023	2018	2023	2018	2023
遊びの中でいろいろなもの興味をもつこと	30.5	< 53.5	24.9	< 38.7	28.6	< 44.3	28.8	< 39.4	24.4	< 46.2	25.9	< 39.0
のびのびと遊ぶこと	35.3	< 45.0	29.8	34.4	32.3	< 41.4	26.4	< 41.2	36.3	36.9	27.5	< 39.3
友だちを大事にし、仲良く協力すること	29.2	30.7	22.6	27.2	23.0	21.2	20.7	20.0	14.9	< 26.2	17.3	20.5
考える力を養うこと	32.0	29.0	23.2	23.9	19.6	23.9	21.9	24.4	29.4	25.8	26.0	22.8
健康な身体をつくること	32.5	> 25.8	27.3	26.7	45.8	47.1	39.8	38.7	39.3	38.4	34.5	35.4
基本的な生活習慣を身につけること	25.7	23.2	32.1	36.2	32.0	32.7	34.0	36.3	33.3	34.8	28.4	< 35.4
豊かな情操や感性を育むこと	19.1	22.3	23.0	> 17.2	21.4	20.4	21.9	22.1	22.9	> 16.1	27.2	> 21.2
人への思いやりをもつこと	28.5	> 18.5	35.5	30.7	39.5	> 30.3	35.8	> 28.0	33.8	> 27.2	34.7	30.5
粘り強く挑戦すること	13.9	16.3	9.8	7.5	3.9	4.8	6.0	4.2	7.0	10.0	7.7	7.0
思ったことをはっきり話し、人の話をよく聞くこと	18.5	13.8	14.2	13.2	14.4	> 7.7	12.6	8.9	18.9	> 13.6	10.8	10.0
自然とふれあうこと	5.9	8.0	8.3	< 16.0	8.7	11.1	9.7	13.3	7.5	11.5	10.5	< 16.3

※ 複数回答(3つまで)

※ 「その他」を含む18項目のうち、いずれかの園種で1割以上の回答がある11項目を表示

※ 国公立幼稚園(2023年)の降順で表示

※ >と<は5ポイント以上の差を示しており、そのうち10ポイント以上の差は青数字、20ポイント以上の差は赤数字にしている

2-3 通常の保育時間の活動実態



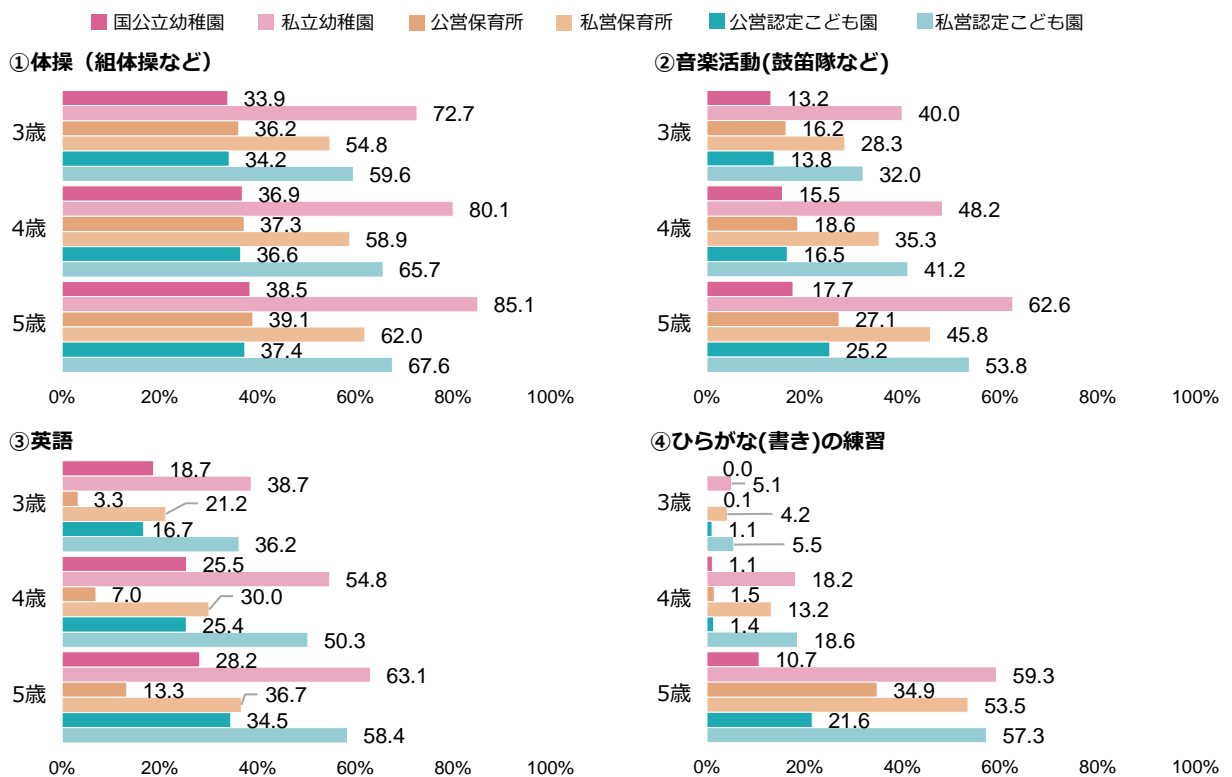
私立・私営の園では、国公立・公営に比べて、遊びを通じた総合的な活動以外に、「体操」「音楽活動」「英語」「ひらがな」の活動を積極的に行っている。

通常の保育の時間において、私立・私営の園でさまざまな活動を行っている。私立幼稚園では「体操」は7割以上、「音楽活動」は4～6割、「英語」は3～6割で、年齢が高くなるにつれ実施比率も増えている。「ひらがな(書き)の練習」は、私立・私営の園では5歳児は5割以上実施している(図表2-3-1)。経年比較でみると、とくに私立幼稚園でこうした活動の実施比率が増えている(図表2-3-2)。

Q 貴園では、通常の保育の時間に、クラス全員に対して、「要領・指針」で定める遊びを通じた総合的な活動以外に、下記のような活動を行っていますか。行っている場合、その活動の対象年齢について、あてはまるものをすべて選択してください。

図表2-3-1 各活動の年齢別実施率(園の区分別 23年)

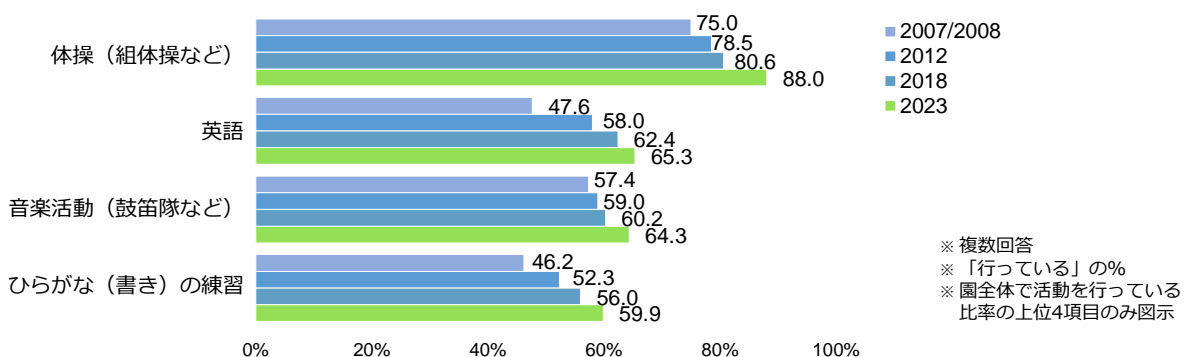
園長回答



※ 複数回答
 ※ 「行っている」の% ※ 3歳児以上のみ図示
 ※ 園全体で活動を行っている比率の上位4項目のみ図示

図表2-3-2 各活動の実施率(私立幼稚園 経年比較)

園長回答



※ 複数回答
 ※ 「行っている」の%
 ※ 園全体で活動を行っている比率の上位4項目のみ図示

2-4 小学校との協働・連携

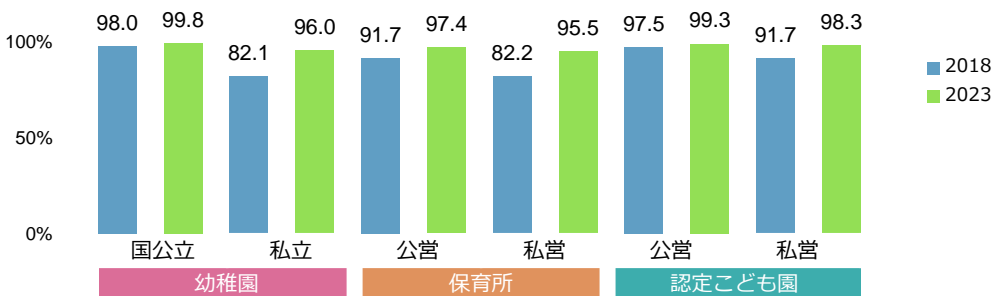


小学校との協働・連携を実施している園は、2018年に比べて増えている。

小学校との協働・連携を実施している園は、2018年に比べて増えている。国公立幼稚園、公営保育所、公営・私営認定こども園では、2018年ですでに9割を超えていたが、さらに増加している。また、私立幼稚園では約14ポイント、私営保育所では約13ポイント増えている（図表2-4-1）。協働・連携している内容をみると、もっとも高かった項目は「特別な配慮を必要とする子どもの支援について小学校に引き継ぐ」であった。幼保小の架け橋プログラムで重視している「幼保小の合同会議等で、定期的に事例の検討を行う」は3～5割、「遊びを通じた学びの教育的意義や効果について、小学校の教員と話し合う」は1～4割である。とくに、幼稚園や認定こども園では、国公立・公営のほうが私立・私営よりも実施している比率が高かった（図表2-4-2）。

Q 貴園では、地域の小学校と協働・連携をしていますか。あてはまるものをすべて選択してください。

図表2-4-1 小学校との協働・連携の有無（園の区分別 経年比較） 園長回答



※ 「協働・連携している」の%
 ※ 18年調査では「地域の小学校との交流活動をしていますか」とたずねている

Q どのような協働・連携をしていますか。

図表2-4-2 協働・連携の内容（園の区分別 23年） 園長回答

	幼稚園		保育所		認定こども園	
	国公立	私立	公営	私営	公営	私営
保育者・教員向け	特別な配慮を必要とする子どもの支援について小学校に引き継ぐ	96.0 > 83.5	87.5	78.9	93.9	84.8
	遊びを通じた学びの教育的意義や効果について、小学校の教員と話し合う	45.9 > 14.2	21.3	18.3	38.0 > 18.0	
	幼保小の合同会議等で、定期的に事例の検討を行う	38.1 < 46.9	45.0	51.9	35.5 < 48.6	
	小学校の教員が園児に保育を行う	11.6 > 3.7	8.5	7.8	10.4 > 5.3	
園児・小学生向け	園児が小学校の見学や授業参観をする	82.0 > 57.6	57.4	56.1	69.5 > 62.6	
	園児が小学生と一緒に活動をする	76.4 > 47.4	49.7	45.6	69.2 > 53.7	
	園児が運動会や発表会など、小学校の行事を見学する	48.1 > 13.7	24.7	23.8	35.1 > 26.5	
	園児が小学校の校長や教員の話聞く	45.7 > 13.2	20.0	15.7	35.1 > 20.0	
	園児が小学校の給食の体験をする	30.5 > 3.2	6.1	5.2	9.3	6.4
	園児が運動会や発表会など、小学校の行事に参加する	20.7 > 8.5	12.4	12.4	21.9 > 12.3	
小学生が園の行事を見学したり、参加したりする	25.8 > 14.0	14.8	17.6	22.2 > 16.8		

※ 複数回答
 ※ 小学校との協働・連携がある園のみ
 ※ > とくは5ポイント以上の差を示しており、そのうち10ポイント以上の差は青数字、20ポイント以上の差は赤数字にしている